

2015 年度 第 2 回 単位互換・京^{みやこ}カレッジに関する事務担当者会議

次 第

日時：2015 年 11 月 13 日（金）

14：00～16：00

場所：キャンパスプラザ京都

第 1 会議室

I 開 会

II 報告事項

1. 単位互換・京カレッジ共通

- (1) 2016 年度単位互換・京カレッジの実施について＜資料 1＞
- (2) 「プラザ科目」の授業・試験休止の取り扱い基準の変更について＜資料 2＞

2. 単位互換

- (1) 2016 年度のプラザ推奨科目について＜資料 3＞
- (2) 2015 年度単位互換事業の履修状況について＜資料 4＞
- (3) 2015 年度京都世界遺産 PBL 科目の中間発表について＜資料 5＞

3. 京カレッジ

- (1) 2016 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助金」の採択について＜資料 6＞
- (2) 生涯学習事業「京カレッジ」の実施について＜資料 7＞

III 依頼・確認事項

1. 単位互換・京カレッジ共通

- (1) 2016 年度ガイドラインについて＜別添資料＞
- (2) 2016 年度「プラザ科目」の出講案内について＜別添資料＞
- (3) 2016 年度シラバスの作成依頼と注意事項について＜資料 8＞
- (4) 2016 年度単位互換・京カレッジ開講に伴う確認事項について＜資料 9＞

2. 単位互換

- (1) 単位互換事業に関する連絡事項について＜資料 10＞

3. 京カレッジ

- (1) 京カレッジ大学リレー講座への講座の提供について＜資料 11＞

IV その他

1. 意見交換

V 閉 会

以 上

2016 年度単位互換・京カレッジ事業の実施について

大学コンソーシアム京都の中長期計画「第4ステージプラン」(2014～2018年度)における単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)の課題解決に向けて、第1回教育事業企画検討委員会での審議結果、及び第1回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(2015年7月17日実施、以下、担当者会議)での意見交換の内容を踏まえ、2016年度の単位互換・京カレッジ事業においては、下記通り変更を行う。

また、単位互換・京カレッジ事務担当者の業務ノウハウの共有及び効率化のため、別冊資料の通り「事務担当者ガイド」を発行する。

<2016年度以降変更内容>

1. 【単・京】テーマ別科目分類の再編
2. 【単・京】提供科目ガイドラインの制定
3. 【単・京】eラーニング科目の新規募集を停止
4. 【単】「追加登録」の廃止
5. 【単】「プラザ科目」の補助金制度の見直し
6. 【単】「プラザ推奨科目」の補助金制度の見直し
7. 【京】公開講座の分野(コース)の再編
8. 【京】「市民教養講座開設補助費」の新設

【単位互換・京カレッジ共通事項】

1. テーマ別科目分類を再編

加盟校において新学部や新学科等が誕生していることを踏まえ、約10年間変更のなかったテーマ別科目分類を再編し、新たに「生活・健康・スポーツ」と「国際関係(グローバル)」の分類を追加する。

2. 提供科目のガイドラインについて

提供科目の精選化のため、第1回教育事業企画検討委員会において、「単位互換科目提供ガイドライン」を制定した。しかし、担当者会議での意見交換及びその後のヒアリングにおいて、一部の加盟校では学則・学部則に定められていない科目をプラザ科目として提供していることが判明した。これらの科目の中には、科目開設大学の特色を反映した科目として継続的に提供されてきたものもあるが、財団としては、単位互換制度の意義や質保証の観点からガイドラインに沿った科目の提供を要請していく必要があり、今後の対策を加盟校と協議していく必要がある。

<単位互換科目提供ガイドライン>

- ①科目を提供する大学・短期大学(部)の学則に定める科目であること。
- ②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。
- ③科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において特に業績が認められる者についてはこの限りではない。
- ④チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネーターを務めること。
- ⑤連続して3年の間、単位互換生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。
- ⑥同一大学において、提供する科目名や講義概要(シラバス)が同じものについては1科目に選択して提供すること。
- ⑦上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目提供大学・短期大学(部)が協議する。

3. eラーニング科目の新規募集を停止

財政上の事業継続性の観点から、2016年度以降の新規科目の募集を停止する。既存科目については引き続き提供するが、eラーニング科目の全体の方向性については、2017年度を目途に結論を出す。

【単位互換】

4. 「追加登録」を廃止

「前期」「追加」「後期」の3回出願期間のうち、出願者数の減少や加盟校における事務負担を鑑み、の軽減の観点から「追加出願」を廃止する。

5. 「プラザ科目」の補助金を見直し

単位互換出願者数の減少に伴い厳しくなっている「科目運営補助金」の受給基準の緩和など、補助金制度を見直し、プラザ科目の充実を図る。

＜「プラザ科目」の支給額＞

科目運営補助金：半期3万円（通期6万円）

支給基準：単位互換生・京カレッジ生が10名以上受講していること。

6. 「プラザ推奨科目」の補助金を見直し

プラザ推奨科目の定義を新たにし、補助対象の科目分類、支給額、支給条件を見直すことで、「プラザ科目」からのさらなる特色化を図る。

＜2016年度からの「プラザ推奨科目」の定義＞

以下①～③のいずれかに該当するものを「プラザ推奨科目」とする。

- ①原則2名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者との連携講義で構成する科目（チェーンレクチャー、オムニバス方式等）
- ②フィールドワークやワークショップ、PBLを取り入れた課題解決型の能動的学修科目
- ③「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」と連携して開講する科目

＜新「プラザ推奨科目」分類案＞

科目分類	概要
①プラザ推奨科目（講義形式）	京都に関するテーマやその他特色のあるテーマについて、複数の研究者や実務者などから多角的に学ぶことができる科目
②プラザ推奨科目（演習・実習形式）	フィールドワークやワークショップ、PBLまたは実習等を通して、学生が主体的・能動的に研究・発表・討議できる演習・実習科目
③京都世界遺産 PBL 科目	財団が提供する枠組みで、京都の世界遺産をフィールドに展開するPBL科目（明日の京都 文化遺産プラットフォーム連携）

＜新たな科目開設準備金の枠組み＞

■新補助金制度（科目運営補助金・活動支援補助金）

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨科目（講義形式）	科目運営補助金	100,000円 ※財団規程による学外講師2名分の謝金+交通費相当額で算出	単位互換生・京カレッジ生が10名以上受講していること。	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA謝礼、教材費、その他開設・運営にかかる経費を科目開設大学の基準で使用。
② プラザ推奨科目（演習・実習形式）	科目運営補助金	100,000円	単位互換生が1名以上受講していること ※2年連続で単位互換生が0名の場合、2年目は支給しない	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で使用。

③ 京都世界遺産 PBL 科目	活動支援 補助金	3年まで：70,000 円	教員の申請に基づき 実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する <u>消耗品費</u> 、 機材等の <u>賃借費</u> ・他団体・機関での実習や研修合宿 などの <u>業務委託費</u> ・調査・研究に必要な <u>図書費</u> ・フィールドワーク等で必要な入場 料・拝観料 ・成果物作成等にかかる <u>印刷製本費</u>
-----------------------	-------------	---------------	--------------------	---

【京カレッジ】

7. 公開講座の分野（コース）の再編

これまでの「大学講座」「市民教養講座」「キャリアアップ講座」「京都力養成コース」を「大学講座」と「市民教養講座」の 2 区分に分け、「市民教養講座」に「市民教養講座（従来型）」「京都力養成コース（既存）」「教養力養成コース（新規）」を設ける。

8. 「市民教養講座開設補助費」を新設

「市民教養講座」のうち、「京都力養成コース」「教養力養成コース」に提供される講座を対象に「市民教養講座開設補助費」を支給することで、加盟校による特色ある講座の開設を支援する。

＜「京都力養成コース」の補助対象＞

- ①京カレッジ用（京カレッジ生を対象）に提供する講座であること。
- ②専任の教員がコーディネーターを務めること。
- ③蓄積された研究から京都をより深く学べる講座であること。
- ④フィールドでの学習（現地見学）を一部取り入れた講座であること。
- ⑤実務者など外部講師を活用した講座であることが望ましい。

＜「教養力養成コース」の補助対象＞

- ①京カレッジ用（京カレッジ生を対象）に提供する講座であること。
- ②専任の教員がコーディネーターを務めること。
- ③大学の強みを生かした講座、地域力・文化力向上（地域人材の育成）につながる講座であること。
- ④フィールドでの学習（現地見学）を一部取り入れた講座であること。
- ⑤実務者など外部講師を活用した講座であることが望ましい。
- ⑥キャンパスプラザ京都（プラザ科目）で開講すること。

【新】市民教養講座開設補助費

	コース	補助名目	補助金額	想定する用途
市民 教養 講座	京都力養成 コース	講座運営補助	100,000 円	印刷製本費、図書購読費、実習先の入館料、打ち合わせにかかる経費（アルコール類は除く）、講師料の補てん、その他講座運営に必要と判断される経費
	教養力養成 コース	講師料補助	22,274 円／ 1 コマ	講師謝礼（講師料について各大学に支払い基準がある場合は各大学にて支払額を判断）

以 上

「プラザ科目」における授業・試験休止の取り扱い基準について

資料2

標記の件について、下記のとおり変更することを提案する。

記

1. 変更理由

現在の授業休止基準には、2013年8月に創設された「特別警報」について規定されていないため、新たに追加する。また、各加盟大学の運用状況に鑑み、基準の見直しも合わせて行う。

2. 変更の内容

		変更案	現行
授業 休 止 の 基 準 (1) (2) い ず れ か が 生 じ た 場 合	(1) 交 通 機 関	下記のうち2つ以上の交通機関が同時に <u>全面的・部分的に運行休止または運転見合わせ</u> の場合 ①京都市バスまたは京都市営地下鉄（全路線） ②J R（京都線、琵琶湖線、湖西線、奈良線、嵯峨野線のいずれか） ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間） ④阪急電車（河原町～梅田間） ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）	下記のうち2つ以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合 ①J R（京都発着の各線[ただし、新幹線は除く]） ②京都市バス・京都市営地下鉄（いずれも全面不通） ③京阪電車（出町柳～淀屋橋・中之島） ④阪急電車（河原町～梅田） ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺）
	(2) 気 象	京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報または暴風警報が発令された場合	暴風警報が以下の区域に発令された場合 ・大阪府（北大阪、大阪市、東部大阪、泉州、南河内を含む） ・京都府南部（南丹・京丹波、京都・亀岡、山城中部、山城南部を含む） ・滋賀県南部（近江南部・東近江・甲賀を含む）
講 義 実 施 の 基 準		7：00 までに解除または運転再開の場合 →1 講時（9：00）から実施 10：30 までに解除または運転再開の場合 →3 講時（12：40）から実施 14：00 までに解除または運転再開の場合 →5 講時（16：20）から実施 14：00 を過ぎても解除または運転再開されない場合 →終日休講	6：30 までに解除または開通の場合 →1 講時（9：00）から実施 10：00 までに解除または開通の場合 →3 講時（12：40）から実施 14：00 までに解除または開通の場合 →5 講時（16：20）から実施 14：01 以降に解除または開通の場合 →終日休講

なお、以上の基準に関わらず、大学コンソーシアム京都が授業・試験の実施に支障があると判断した場合は、授業・試験を休止することがある。

以 上

「プラザ科目」における授業・試験休止の取り扱い基準について

キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」では、暴風警報や特別警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めていますので、基準に従い各自で判断してください。

なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。

1. 授業・試験の休止基準

次の（１），（２）いずれかに該当する場合、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

また、次の基準にかかわらず、大学コンソーシアム京都が授業・試験の実施に支障があると判断した場合は、授業・試験を休止することがあります。

（１）警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報または暴風警報が発令された場合

（２）交通機関の運行休止

下記のうち２つ以上の交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ① 京都市バスまたは京都市営地下鉄（全路線）
- ② J R（京都線、琵琶湖線、湖西線、奈良線、嵯峨野線のいずれか）
- ③ 京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④ 阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤ 近鉄電車（京都～大和西大寺間）

2. 授業・試験の実施基準

暴風警報が解除された場合、または交通機関の運行が再開された場合は、以下の基準により授業・試験を実施します。

なお、授業中または試験中に警報が発令された場合は、原則として実施中の授業・試験については休止または延期せず、その次の時限から休止または延期の措置を取ります。

判断基準	対 応
7：00 までに解除または運行再開の場合	1 講時（9：00）から実施
10：30 までに解除または運行再開の場合	3 講時（12：40）から実施
14：00 までに解除または運行再開の場合	5 講時（16：20）から実施
14：00 を過ぎても解除または運行再開されない場合	終日授業・試験を休止

3. 授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学とも調整の上、e 京都ラーニングやキャンパスプラザ京都 1 階掲示板等でお知らせします。

以 上

2016 年度のプラザ推奨科目について(報告)

1. 2016 年度のプラザ推奨科目について

2016 年度のプラザ推奨科目は以下の通りです。3 科目の新規科目と 19 科目の継続科目が開講される予定である。(プラザ推奨科目は原則 3 年間の継続提供を依頼している。)

次年度よりプラザ推奨科目のガイドラインを改定することに伴い、科目区分によって補助金支給額や支給条件が異なるため、詳細についてはプラザ推奨科目のガイドラインをご参照のこと。

2. 新規開設科目

2016 年度に新規開設されるプラザ推奨科目は、以下の 3 科目である。

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開講期間	開始年度	備考
講義	若者と自殺 -いのちのリレー講座-	京都ノートルダム女子大学	河瀬 雅紀	通年	16	1年目
演習・実習	地域公共人材特別講座(PBL入門)	龍谷大学	白石 克孝	前期	16	1年目
世界遺産	「中世の比叡山」再現プロジェクト	京都文教大学	手嶋 英貴		16	1年目

3. 継続提供科目

継続提供の対象となる 2014 年度以降開設のプラザ推奨科目 22 科目うち、19 科目が継続提供される。

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開講期間	開始年度	備考
既存	Integrated Skills ー英語口と英語舌から発音力とリスニング力アップー[高大連携]	京都外国語大学	倉田 誠	前期	14	3年目
既存	Integrated Skills(コミュニケーション編)[高大連携]	京都外国語短期大学	DAVEY IAIN	後期	14	3年目
講義	VB 特殊講義「関西の21世紀学」	立命館大学	宮脇 昇	夏期集中	14	3年目
演習・実習	特殊講義 I「京都の文化遺産とその保護」	立命館大学	大窪 健之	夏期集中	14	3年目
eラーニング 科目	eビジネス論	京都光華女子大学	阿部 一晴	後期	14	3年目
講義	京都商業特別講座A	京都学園大学	堀池 敏男	前期	15	2年目
演習・実習	京都商業特別講座B	京都学園大学	堀池 敏男	夏期集中	15	2年目
既存	創作論	京都精華大学	濱田 邦裕	前期	15	2年目
講義	天文学と私たち ～神山天文台からのアプローチ～	京都産業大学	中道 晶香	集中	15	2年目
既存	歴史都市京都の文化と観光	京都産業大学	吉野 秋二	夏期集中	15	2年目
講義	京都の歴史と文化遺産	京都橘大学	増淵 徹	夏期集中	15	2年目
演習・実習	人文学入門(現代社会の諸問題に立ち向かうための哲学)	京都大学	児玉 聡	後期	15	2年目
演習・実習	特殊講義「運動と栄養と暮らしをエネルギーから考える」	立命館大学	海老 久美子	夏期集中	15	2年目
世界遺産	京都の世界遺産PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	京都産業大学	若松 正志		15	2年目
世界遺産	コミュニティマネジメント特論:世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	龍谷大学	笠井 賢紀		15	2年目
世界遺産	世界遺産PBL講座～O2Oマーケティングによる地域活性化	同志社大学	多田 実		15	2年目
世界遺産	遺産情報演習 I 	京都橘大学	一瀬 和夫		15	2年目
世界遺産	京都有名社寺城の境内の見どころを巡るバリアフリー動線の提案	立命館大学	宗本 普作		15	2年目
世界遺産	政策科学特別実習1(京都の世界遺産 仁和寺)	立命館大学	桜井 政成		15	2年目

※科目区分 講義:プラザ推奨科目(講義形式)、演習・実習:プラザ推奨科目(演習・実習形式)、世界遺産:プラザ推奨科目(京都世界遺産 PBL 科目)、既存:今年度までの枠組みで提供されるプラザ推奨科目(既存科目)

4. 提供中止科目

継続対象科目のうち、以下の3科目については、科目開設大学より提供中止の申し出があったため、提供を中止する。

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開始 年度	備考
世界遺産	環境工学の視点で空間を捉える ～五感で親しむ魅力のスポットの発見～	京都ノートルダム女子大	竹原 広美	15	2年目
世界遺産	絵巻を作るー記録保存と伝承ー	京都市立芸術大学	宇野 茂男	15	2年目
プラザ推奨	地球の異文化理解(比較文化研究編)	京都外国語大学	佐々木 伸一	14	3年目

※科目区分(旧区分)プラザ推奨：プラザ推奨科目、京都学：プラザ推奨科目(京都学)、世界遺産：プラザ推奨科目(京都世界遺産)

5. 開設から3年が経過し、15年度でプラザ推奨科目としての提供が終了する科目

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開始 年度
eラーニング 科目	消費者取引と大学生～理論と実際の対策～	京都産業大学	吉永 一行	13
eラーニング 科目	コンピューティングファンダメンタルズ	京都光華女子大学	阿部 一晴	13
eラーニング 科目	リビングオンライン	京都光華女子大学	阿部 一晴	13
プラザ推奨	語りから未来を紡ぐ：方法論と実践	龍谷大学	笠井 賢紀	13
京都学	京都演劇ワークショップ	龍谷大学	Jonah Salz	13
京都学	京都の舞台入門：演劇表現入門	龍谷大学	Jonah Salz	13
プラザ推奨	サイエンスとアート	京都精華大学	濱田 邦裕	13
プラザ推奨	大学スポーツ政策論：学生・スポーツ・大学・地域を紡ぐ方策	立命館大学	長積 仁	13

※科目区分(旧区分)プラザ推奨：プラザ推奨科目、京都学：プラザ推奨科目(京都学)、世界遺産：プラザ推奨科目(京都世界遺産)

以 上

2015 年度単位互換事業出願状況の報告について

1. 概要

2015 年度の単位互換事業には、加盟校から 589 科目の提供があった。また、3 月 26 日から 4 月 9 日まで（各大学の出願受付は前述の期間内で設定）を前期出願期間として、5 月 21 日から 6 月 4 日までを追加出願期間として、9 月 10 日から 24 日まで後期出願期間として履修生を募ったところ、延べ 3,615 名の出願があった。

2. 実績

別紙参照

3. 総括

（1）提供科目数について

2015 年度前期の単位互換提供科目数は、589 科目であり、昨年度の 516 科目から 73 科目増加した。その要因として、京都世界遺産 PBL 科目が 8 科目新設されたことに加え、同一名称で同一内容の科目を複数提供された加盟校があったことがあげられる。

第 4 ステージプランにおいては、提供科目数よりも、特色ある科目を単位互換科目として提供することに重点を置いている。昨年度までは、各加盟校から単位互換科目の提供を受けるにあたっての基準等を設けられていなかったことから、2016 年度より、第 1 回教育事業企画検討委員会でも審議した通り、「プラザ科目についてのガイドライン」、「プラザ推奨科目についてのガイドライン」を制定した。

（2）出願者数について

前期・追加出願と同様、後期出願においても昨年度より出願者数が減少した。後期出願者数は、昨年度 405 名だったのに対して今年度は 270 名と、昨年度から 135 名（約 33%）減少した。また、全出願者数 3,615 名となり、昨年度（2014 年度）の 5,287 名から、約 1,600 名（約 32%）も減少した。今年度は、全体を通じて出願者が 1/3 程度減少しており、その原因として、単位互換制度自体の学生の認知度が低下してきていることや、各大学における単位互換科目の履修制限が厳しくなっていることが考えられる。

単位互換制度の知名度向上に向けては、単位互換制度のリーフレット及び特設 Web サイトをリニューアルする。新しいリーフレット及び Web サイトでは、学生に単位互換制度のイメージを具体的に掴めるようにするため、学生や担当教員のインタビューを掲載するとともに、低年次生を主なターゲット層として配布し、早い段階から単位互換制度への認知を高める。また、Web サイトにおいては、複雑になっている単位互換制度に関する各種情報への導線を整理し、単位互換利用者のポータルサイトの役割を担うものを製作する。

以 上

「京都世界遺産 PBL 科目」の中間発表会の実施について(報告)

「京都世界遺産 PBL 科目」では、講義の進捗状況や学習成果の発表を行う機会として「中間発表会」と「成果発表会」の場を設けている。この度、中間発表会を開催したので、下記のとおり報告する。

記

1. 実施日時

2015 年 10 月 24 日 (土) 13:00～15:00 (120 分) ※休憩時間 10 分含む

＜場所＞キャンパスプラザ京都 第 1 講義室

2. 実施概要

(1) 実施の目的

科目に参加する学生が、これまでの活動や取り組みを通じて、フィールドとなっている世界遺産やその周辺地域の課題解決や現状の改善に貢献したかについてプレゼンテーションを行い、活動の進捗状況を確認する。また、世界遺産所有者からもコメントを求め、今後の活動や成果発表会に向けての修正を図る場とする。

なお、同じく世界遺産で取り組んでいる科目の学生とも情報を共有することで多様な視点を持つようにしている。来場者へはコメントシートを配布し、各科目の受講生にフィードバックを行った。

(2) 発表科目

連 携 先	科 目 名	学生数
上賀茂神社×京都産業大学 (担当教員：若松正志)	京都の世界遺産 PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	12 名
東寺×京都市立芸術大学 (担当教員：宇野茂男)	保存科学入門「東寺」 絵巻を作る	7 名
醍醐寺×京都橘大学 (担当教員：一瀬和夫)	遺産情報演習 ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	6 名
二条城×同志社大学 (担当教員：多田実)	世界遺産 PBL 講座 ～O2Oマーケティングによる地域活性化	20 名
清水寺×立命館大学 (担当教員：宗本 晋作)	京都有名寺社城の境内の見どころを巡るバリアフリー動線の提案	18 名
仁和寺×立命館大学 (担当教員：桜井 政成)	政策科学特別実習 1「京都の世界遺産 仁和寺」	11 名
醍醐寺×龍谷大学 (担当教員：笠井賢紀)	コミュニティマネジメント特論：世界遺産と学ぶ 課題発見・解決過程	11 名

(3) 発表方法

学生による発表時間：7 分

会場からの講評・質疑応答：7 分

→世界遺産所有者、評価委員による講評、受講生による質疑を行った。

(4) 参加科目、各科目の取り組み概要

別紙、世界遺産 PBL 活動報告書を参照のこと。

3. 今後の取り組み

(1) 成果発表会の開催

中間発表会での指摘点等を踏まえ、成果発表会に取り組むこととなる。成果発表会は、以下の日時で実施する。

＜日時＞2015 年 12 月 5 日（土）13:00～15:20（140 分） ※休憩時間 10 分含む

＜会場＞キャンパスプラザ京都 第 1 講義室

(2) 成果発表会の概要

成果報告会では、評価委員会を設置し、当日の発表内容に関する評価を行う。

評価委員は、単位互換事業を所管する本委員会の委員、京都世界遺産 PBL 科目の企画・運営における協力団体「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」の関係者、外部の有識者から、下記の通り 1 名ずつ選出する。

①阿部 一晴 氏（教育事業企画検討委員、京都光華女子大学・短期大学部 教授）

②大窪 健之 氏（明日の京都「文化遺産プラットフォーム」第六部会委員長、立命館大学 教授）

③中尾 憲司 氏（株式会社 ヒューマンアクティベーション 代表取締役）

(3) 発表方法

学生による発表時間：7 分

会場からの講評・質疑応答：7 分

→世界遺産所有者、評価委員による講評、受講生による質疑を行う。

以 上



活動状況を報告する学生



報告を聞きコメントする世界文化遺産所有者

2016 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」の採択について（報告）

2016 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」の公募を行ったところ、「京都力養成コース」に 6 大学 1 機関から 7 件の申請があった。採択については、第 1 回京カレッジ企画検討会議（2015 年 10 月 28 日開催）において協議し、下記の講座を採択することが承認された。

なお、新たに開設した教養力養成コースには今回は申請がなかったことを申し添える。

記

<京都力養成コース>

No.	大学名	区分	科目名
1	大谷大学	入門	東本願寺を知り尽くす
2	京都外国語大学	演習	京都・博物館都市のまちづくり ～まちなかミュージアム学芸員育成
3	京都産業大学	入門	京都東山の寺社と権力・民衆
4	平安女学院大学	演習	表現力を磨いて京都から新たな文化発信を③ －詩×俳句×Lyric Fest 実験計画－
5	放送大学京都学習センター	入門	日本酒の心美体 ～伏見酒と和食の力の未来図
6	龍谷大学	入門	祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する ～祇園祭を体感する
7	京都・大学ミュージアム連携	入門	大学が育んだ京都 ～京都・大学ミュージアム連携発の「京都力」

<教養力養成コース>

申請なしのため採択なし

以 上

生涯学習事業「京カレッジ」の実施について(報告)

1. 概要

(1) 提供科目について

以下の4分野で本財団加盟校の大学講義・公開講座を2015年度は449科目を提供する。

- ①大学講義(A～J) 単位修得も可能な科目(科目等履修生・聴講生)
 - ②市民教養講座(K) 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
 - ③キャリアアップ講座(L) 多様な語学、資格取得など実学が充実した講座
 - ④京都力養成コース(M) 地域での社会活動のための力ときっかけを得るコース
- ※京都力養成コースに京都学講座を大学コンソーシアム京都主催として開講する。

(2) 広報活動について

- ①財団ホームページに京カレッジ案内掲載(募集ガイド請求フォームの開設)
- ②過年度の受講者及び資料請求者約2,000名へ募集ガイドを送付
- ③市役所、区役所、図書館等市関係施設23か所にチラシを配布
- ④広報用ポスター配布 17か所(市役所、区役所等)＋地下鉄各駅
- ⑤市役所、区役所、図書館及び加盟大学・短期大学で募集ガイドを配布
- ⑥京都市広報紙「市民しんぶん」に記事掲載
- ⑦幼保特例制度説明会でガイド配布、幼稚園・保育園へもガイドを郵送
- ⑧京都新聞・朝日新聞・読売新聞に広告掲載(2014年度の新聞折込広告からの変更)
- ⑨特別企画「京の四季とまつり」を3月7日(土)にキャンパスプラザ京都で開催(来場者約400名)

(3) 出願方法・受付期間

- ①郵送:2015年3月10日(火)～21日(土)必着
- ②持参:2015年3月20日(金)～21日(土) 10:00～16:00で受付
- 【後期】7月18日(土)に追加募集科目を発表
- ①郵送:2015年8月18日(火)～29日(土)必着
- ②持参:2015年8月29日(土) 10:00～16:00で受付

提出方法	2015	比率	2014	比率	2013	比率
郵送	552	67.4%	266	37.2%	239	43.8%
持参	207	25.3%	384	53.6%	230	42.1%
WEB登録	60	7.3%	66	9.2%	77	14.1%
合計	819		716		546	

(4) 科目提供大学数、提供科目数、受講科目数、出願者数 (5月1日集計)

19年度提供大学数、提供科目数、受験科目数、出願者数（5月1日集計）								
	科目提供	提供	出願科目数	出願者数				一人あたり併願科目数
				<実数>		<延べ数>		
				(全体)	(後期)	(全体)	(後期)	
2015	34大学	449科目	178科目	819名	10名	1,946名	25名	2.4科目
	2機関							
2014	34大学	373科目	172科目	716名	18名	1,748名	47名	2.4科目
	1機関							
2013	36大学	428科目	194科目	522名	16名	1,114名	40名	2.1科目
	1機関							
2012	36大学	469科目	228科目	618名	18名	1,327名	62名	2.1科目
	1機関							
2011	36大学	476科目	226科目	611名	29名	1,475名	75名	2.4科目
	1機関							
2010	35大学	460科目	247科目	589名	20名	1,446名	78名	2.4科目
	2機関							

○科目提供は昨年と同様の34大学だが、機関として大学コンソーシアム京都に京都・大学ミュージアム連携から京都力養成コースに1講座の提供を受けた。

○提供科目は昨年度から、76科目増加した。

→同志社大学から大学講義「自然に学ぶ」分野への科目提供が増えたことによる。

○出願者数は昨年度から、実数で112名、延べ数で219名増加した。

→2014年度からの「幼保特例科目」への出願者は減少したが、京都力養成コースの出願者がそれ以上に増加した。

(5) 出願者の年代

年代	男性	女性	合計	割合	2014年度
20代以下	0	1	1	0.1%	0.2%
20代	3	49	52	6.3%	3.1%
30代	6	75	81	9.9%	4.2%
40代	16	95	111	13.6%	9.0%
50代	30	86	116	14.2%	18.6%
60代	158	134	292	35.7%	47.3%
70代	100	50	150	18.3%	16.3%
80代以上	11	5	16	2.0%	1.3%
合計	324	495	819	100.0%	100.0%

○男女とも60代の出願者が最も多く、全体の35.6%を占めている。

○「幼保特例科目」への出願によって女性は20～40代で前年比で増加傾向にある。

(6) コース別出願状況

分野	提供科目数		出願のあった科目		出願者数(人)	
大学講義(A～J)	364	81.1%	127	71.3%	852	43.8%
(上記のうちeラーニング科目)	7	—	4	—	6	—
市民教養講座(K)	33	7.3%	30	16.9%	448	23.0%
キャリアアップ講座(L)	42	9.4%	11	6.2%	16	0.8%
京都力養成コース(M)	10	2.2%	10	5.6%	630	32.4%
合計	449		178		1946	

○提供される講座の約8割が大学講義であり、うち約7割に出願があった。

○市民教養講座は昨年提供の13講座から20講座増えている。

→京都産業大学から「むすびわざ講座」(17講座)の提供があったため増加した。

○キャリアアップ講座は昨年提供の44講座から2講座減少した。出願のあった科目は10科目で語学などは出願を集めるが、資格対策等の講座には出願が集まっていない。

○京都力養成コースは昨年から2講座増加し、全講座に出願があった。

(7) 京都力養成コース出願状況

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	充足率
京都学講座「京のまつりと賑わい」	大学コンソーシアム京都	250	331	132.4%
麴のすべて	放送大学	25	59	236.0%
「京都の歴史」基礎講座	同志社大学	30	45	150.0%
表現力を磨いて京都から新たな文化発信を② 詩×アート／観光×俳句	平安女学院大学	15	15	100.0%
大学が育んだ京都 ～京都・大学ミュージアム発の「京都力」	京都・大学ミュージアム連携	20	44	220.0%
『平家物語』の京都	大谷大学	30	24	80.0%
京のまちなかミュージアム講座 ～まちづくり学芸員を目指す	京都外国語大学	20	14	70.0%
京都文化の広がり ～多様な資料と手法による「比較」から	京都産業大学	30	38	126.7%
祇園祭と京都	龍谷大学	20	41	205.0%
京都の産業・企業の経営に学ぶ ～近代京都産業の源流：島津製作所の経営を学ぶ	龍谷大学	20	19	95.0%
合計		460	630	137.0%

○本コースは財団が科目補助金を支給し、京カレッジのオリジナル講座として開講している。

○全体で460名の定員のところ、630名の出願があった。

○昨年度は定員435名のところ、422名が出願しており、2015年度は208名の増加があった。

→財団開講の京都学講座が昨年度の117名から214名増加している。

(8) 幼保特例プログラム科目への出願状況

科目名	提供大学	定員	出願者数	充足率	2014
教育制度論	大谷大学短期大学部	110	83	75.5%	86
保育者論	大谷大学短期大学部	110	79	71.8%	90
保育臨床相談	大谷大学短期大学部	110	72	65.5%	93
相談支援	大谷大学短期大学部	110	20	18.2%	96
保健と食と栄養	大谷大学短期大学部	110	40	36.4%	99
教育課程論	京都光華女子大学短期大学部	100	89	89.0%	79
乳児保育	京都光華女子大学短期大学部	50	23	46.0%	-
乳児保育	京都西山短期大学	50	25	50.0%	82
福祉と養護	京都西山短期大学	110	41	37.3%	122
保育内容指導法	京都西山短期大学	110	76	69.1%	107
合 計		970	548	56.5%	854

○「幼稚園免許状又は保育士資格取得のための特例制度」に基づく特例講座として2014年度から開講している。

○開始初年度の2014年度は854名の出願があったが、2015年度は548名と306名(約36%)の出願減となった。

(9) 各大学の科目提供数と出願状況

大学名	大学講義	公開講座	計	出願科目	出願者数	出願率
京都大学	0	0	0	-	-	-
京都教育大学	11	5	16	15	75	93.8%
京都工芸繊維大学	2	0	2	1	1	50.0%
京都市立芸術大学	17	2	19	4	5	21.1%
京都府立大学	6	0	6	1	1	16.7%
京都府立医科大学	0	0	0	-	-	-
池坊短期大学	3	0	3	3	8	100.0%
大谷大学	4	1	5	4	32	80.0%
大谷大学短期大学部	7	0	7	7	297	100.0%
京都医療科学大学	0	0	0	-	-	-
京都外国語大学	2	8	10	6	25	60.0%
京都外国語短期大学	1	0	1	1	4	100.0%
京都学園大学	7	1	8	3	12	37.5%
京都華頂大学	1	0	1	0	0	0.0%
華頂短期大学	1	0	1	1	1	100.0%
京都看護大学	0	0	0	-	-	-
京都経済短期大学	0	0	0	-	-	-
京都光華女子大学	6	0	6	1	1	16.7%
京都光華女子大学短期大学部	2	0	2	2	112	100.0%
京都嵯峨芸術大学	0	2	2	1	4	50.0%
京都嵯峨芸術大学短期大学部	0	0	0	-	-	-
京都産業大学	18	32	50	23	399	46.0%
京都情報大学院大学	0	0	0	-	-	-
京都女子大学	0	0	0	-	-	-

京都精華大学	0	0	0	-	-	-
京都西山短期大学	5	0	5	5	152	100.0%
京都聖母女学院短期大学	0	0	0	-	-	-
京都造形芸術大学	13	2	15	15	82	100.0%
京都橘大学	12	5	17	4	52	23.5%
京都ノートルダム女子大学	15	0	15	9	12	60.0%
京都美術工芸大学	0	0	0	-	-	-
京都文教大学	13	0	13	0	0	0.0%
京都文教短期大学	5	0	5	2	2	40.0%
京都薬科大学	2	0	2	1	3	50.0%
種智院大学	4	0	4	4	29	100.0%
成安造形大学	0	0	0	-	-	-
成美大学	0	0	0	-	-	-
成美大学短期大学部	0	0	0	-	-	-
同志社大学	118	1	119	15	65	12.6%
同志社女子大学	10	0	10	7	11	70.0%
花園大学	6	0	6	4	11	66.7%
佛教大学	3	0	3	2	2	66.7%
平安女学院大学	9	1	10	3	17	30.0%
平安女学院大学短期大学部	0	0	0	-	-	-
明治国際医療大学	0	0	0	-	-	-
立命館大学	25	20	45	14	17	31.1%
龍谷大学	32	2	34	17	80	50.0%
龍谷大学短期大学部	4	0	4	0	0	0.0%
大阪医科大学	0	0	0	-	-	-
放送大学・京都学習センター	0	1	1	1	59	100.0%
大学コンソーシアム京都	0	1	1	1	331	100.0%
京都・大学ミュージアム連携	0	1	1	1	44	100.0%
合 計	364	85	449	178	1946	39.6%

2016年度単位互換・京カレッジ

シラバス作成のお願いと注意事項

I. シラバスの登録及び修正期間について

2016年度も単位互換・京カレッジ事業を実施するにあたり、各大学へ科目のご提供をお願いしたいと考えております。ぜひとも京都地域の大学生、社会人にとって魅力のある科目をご提供いただきますよう、お願いいたします。

シラバス情報の登録期間は、次の通りです。単位互換・京カレッジ総合教務システム「e 京都ラーニング」(<https://el.consortium.or.jp/>) からご登録ください。

シラバス情報登録期間：2015年12月2日（水）～2016年1月22日（金）【厳 守】

※上記期間以降のシラバス情報の訂正・追加等は大学コンソーシアム京都（以下、財団）が行いますので変更の場合は必ずご連絡ください。

※シラバスの入力内容に誤りがないか、投稿前に必ずご確認ください。

※シラバス入力締切以降に詳細が決定する科目については、財団にご連絡いただいた上で、締切までに仮情報を入力してください。また、確定後は、財団にて修正を行いますので、情報のご提供をお願いします。

※校正作業は以下のとおりいたします。

1. 「単位互換＋京カレッジの両方に提供の科目」または「京カレッジのみに提供の科目」

『京カレッジ生募集ガイド』作成における校正作業において、訂正・追加を行います。
日程、方法等の詳細については、後日メールにてご連絡いたします。

2. 「単位互換のみに提供の科目」

シラバス登録期間以降の追加・訂正等は、文書にて大学コンソーシアム京都にご報告ください。締切は **2月18日（木）** いたします。詳細は後日メールにて連絡いたします。

II. シラバスの作成について

単位互換・京カレッジ科目の2016年度のシラバスは「e 京都ラーニング」の「【次年度】シラバス入力」に入力いただきます。シラバス入力期間中は、2015年度のシラバスのコピーデータを「【次年度】シラバス入力」から編集できるようになっておりますので、継続提供科目は、そのデータを次年度の内容に修正してください。新規科目については、「科目新規登録」からシラバスを入力してください。

また、2016年度からの変更点やシラバス入力にあたっての注意事項を次ページ以降にまとめておりますので、内容をご確認の上、シラバスの作成を行ってください。

Ⅲ. 次年度からの変更事項

2016 年度より、以下の点について変更を行います。特に今年度からの継続科目については、ご注意の上、シラバスの入力をお願いします。

1. テーマ設定について【共通】

すでにご報告の通り、2016 年度より、単位互換制度・京カレッジにおけるテーマ設定を以下の通り変更します。シラバスの入力の際は、新しいテーマ区分に合うようにテーマをご選択ください。

なお、大学コンソーシアム京都にてテーマ区分を変更した方がよいと判断した場合は、変更をお願いすることもあります。

【2016 年度からのテーマ設定】

	テーマ	該当する科目
大学講義	A 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群
	C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群
	E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多様な観点から現代社会を観察する科目群
	I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座 (京カレ)	J 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K 京都力養成コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム
	L 教養力養成コース	京カレッジ独自に提供される文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム

【参考：2015 年度までのテーマ設定】

	テーマ	該当する科目
大学講義	A 京都（みやこ）を探る	科目のメインに「京都」が関わる内容。多面的なアプローチによる京都学的なもの。
	B 歴史と文化に触れる	科目のメインに「歴史」や「文化」が関わる内容。
	C 美の世界に触れる	美術史、美術品、絵画、工芸品等、科目のメインに「美」「芸術」というものが関わる内容。音楽、美容、精神面での美も含む。
	D 文学の世界に触れる	文学、文学史、作家（作者）、古典等、科目のメインに「文学」が関わる内容。
	E ことばの魅力を知る	言語、ことば、外国語、コミュニケーション等、科目のメインに「ことば」を連想できるものが関わる内容。
	F いのちと人間を考える	生命、いのち、個人が生きること、個人の生き方や生き様、人間、人間性等、科目のメインに「いのちと人間を考える」といったものが関わる内容。
	G 教育とは…何だろう	教育学、教職免許、学ぶこと、人や育つということ、教えるということ、学校等、科目のメインに「教育とは何か」を考えるようなものが関わる内容。
	H 自然に学ぶ	科目のメインに「自然」というものが関わる内容。
	I 環境とくらしを考える	環境学、環境、人々のくらし、過去の人々のくらし、技術と環境等、科目のメインに「環境とくらし」「環境と人間」を考えるようなものが関わる内容。
	J 現代社会を知る・考える	現代社会の問題点、社会現象、政治や経済の動向、法・経済・労働、国際関係等、多様なアプローチによる「現代社会」に関わる内容。
K 市民教養講座		教養を向上させる機会として、大学が公開している講座やシンポジウムなど。
L キャリアアップ講座		キャリアアップのための資格取得の試験対策講座を中心とした講座。
M 京都力養成コース		産官学地域連携によるフィールドワークと座学を組み合わせた講座。

2. 英文科目名称の入力について【単位互換】

加盟大学の中には、事務処理の都合上、単位互換科目の「英文科目名称」の入力を必要とされている大学がございます。ほとんどの科目で入力されておりますが、一部の科目で入力されていない科目がございますので、極力「英文科目名称」を入力するようにしてください。

万が一、「英文科目名称」の入力が難しい大学ございましたら、財団までご相談ください。

3. 開講期間の入力について【共通】

具体的な日程、講時（時間帯を含む）を入力サンプルに従って詳細に入力してください。プラザ科目における開講期間は「学年暦（プラザ科目）」に沿って以下の通りとします。開講期間以外の期間設定はできません。2016 年度は 12 月 23 日（金）～1 月 4 日（水） が講義休止期間となっていますので、ご注意ください。オンキャンパス科目には科目開設大学の学年暦に沿って期間設定をお願いします。

また、e 京都ラーニングで選択できる「開講形態」（開講期）の種別が多くなっており、学生がシステムで科目検索を行う際に不便をかけていると考えております。この状況を踏まえ、次年度からは、以下の通り科目種別を整理します。

【2016年度からの「開講形態」について】

新開講形態	旧開講形態
前期・春学期	前期、春学期、前期集中、春学期集中
後期・秋学期	後期、秋学期、後期集中、秋学期集中
通年	通年
夏期集中	夏期集中
集中	集中（上記の4つの分類に当てはまらない科目）

なお、システムの設定の都合上、シラバス入力期間中は、「新開講形態」と「旧開講形態」の両方を選択できるようになっておりますが、入力の際は、新開講形態で該当する期間を選択してください。（旧形態のままの科目は、財団にて修正を行います。）

【プラザ科目開講期間の設定】

曜日	期 間	開 始 日	開 始 日	終 了 日	終 了 日
火	通 年	2016年4月12日	から	2017年1月17日	まで
	前期・春学期			2016年7月26日	
	後期・秋学期			2017年1月17日	
水	通 年	2016年4月13日	から	2017年1月18日	まで
	前期・春学期			2016年7月27日	
	後期・秋学期			2017年1月18日	
木	通 年	2016年4月14日	から	2017年1月19日	まで
	前期・春学期			2016年7月28日	
	後期・秋学期			2016年1月19日	
金	通 年	2016年4月8日	から	2017年1月13日	まで
	前期・春学期			2016年7月22日	
	後期・秋学期			2017年1月13日	
土	通 年	2016年4月9日	から	2017年1月14日	まで
	前期・春学期			2016年7月16日	
	後期・秋学期			2017年1月14日	
日	通 年	2016年4月10日	から	2017年1月15日	まで
	前期・春学期			2016年7月17日	
	後期・秋学期			2017年1月15日	

＜注意事項＞週2回以上開講している科目は、最初の日から最後の日までをご選択ください。

※夏期集中期間：2016年8月5日～2016年9月20日

【プラザ科目学年暦】

2016年度 プラザ科目 学年暦						
4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
4/8 前期講義開始日 4/29 昭和の日						
5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日、 5/5 こどもの日						
6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
7/29～8/4 前期試験期間 7/18 海の日						
8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
8/5～9/20 集中講義期間 8/11 山の日						
9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
9/21 後期講義開始日 9/19 敬老の日、9/22 秋分の日						
10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
10/10 体育の日						
11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
11/3 文化の日、11/23 勤労感謝の日、						
12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
12/23～1/4 講義休止期間 12/23 天皇誕生日						
1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
1/5 講義再開 1/24～1/29 後期試験期間 1/1 元日、1/2 振替休日、1/9 成人の日						
2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				
2/11 建国記念の日						
3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
3/20 春分の日						

Ⅳ. 今年度からの継続事項

1. 履修対象大学選択について【共通】

単位互換科目のみの場合は、「対象大学入力支援」ボックスの「単位互換」、京カレッジ科目のみの場合は「京カレッジ」、両方に提供される科目については「単位互換／京カレッジ」を選択してください。自動的に対象大学が表示されます。

2. 開講曜日・講時の入力について【共通】

開講曜日・講時を選択する欄については、以下を基準にしてください。

ブラザ科目	ブラザ科目の時間割に沿って選択をしてください。
オンキャンパス科目	科目開設大学の時間割に沿って選択をしてください。

※選択できる講時は1項目となります。2講時にまたがる講義については、開始講時を選んでいただき、開講期間などに詳細を記載するようにしてください。

※開講期間に入力した曜日・講時と開講曜日・講時のチェックが一致しているかご確認ください。

【ブラザ科目時間割】

講時	時 間
1	9:00 ~ 10:30
2	10:50 ~ 12:20
3	12:40 ~ 14:10
4	14:30 ~ 16:00
5	16:20 ~ 17:50
6	18:10 ~ 19:40
7	20:00 ~ 21:30

3. 授業形式選択について【共通】

授業形式については、以下の5項目からの選択となっております。

対面授業（ブラザ）	キャンパスブラザ京都での授業
対面授業（オンキャンパス）	科目開設大学での授業
VOD	デジタルコンテンツでの授業
ブレンディッド	VODと対面授業の両方を含んだ授業

※キャンパスブラザ京都 6F 共同サテライト教室で行う授業は「オンキャンパス科目」扱いです。

4. その他特記事項について【共通】

その他特記事項には、以下の例を参考に受講にあたっての注意点を記載してください。

	ケース	『その他特記事項』に以下を記載
①	科目名称を変更	「過去に〇〇〇（科目名）を受講した学生は、同一科目のため登録できません。」
②	同一科目を前期と後期別で開講	「前期に〇〇〇（科目名）を受講した学生は、同一科目のため後期は履修できません。」

5. 講義スケジュール入力について【共通】

講義スケジュールについては、15回記載できるフォーマットをあらかじめ準備しております。15回以下の科目については、残りのフォーマットを削除いただきご記入ください。なお、シラバス形式統一のため記載の回数表示の変更はなるべくお避けください。

また、ブラザ科目につきましては教室配当の際に、講義スケジュール欄に記載していただいた内容で教室調整をいたしますので、日時及びキャンパスブラザ以外を使用される等について詳しく記載していただきます様をお願いします。

6. 掲載期間、出願期間、出願期間表示設定について【共通】

上記項目は以下の通り統一してください（前期登録に対応しています。）。

掲載期間	2016-03-8～2017-03-31（別途財団で設定をしますので入力不要です。）
出願期間	2016-03-25～2016-04-14
出願期間表示設定	表示しない（初期設定どおり）
承認結果公開日	2016-04-22

7. 開講期間設定について【共通】

「開講期間設定」で設定する期間は、受講生がe 京都ラーニングにログインの後、履修科目のコース（Moodle）にアクセスができる期間です。この期間内に限り、e ラーニング科目では、VOD コンテンツが視聴でき、その他の科目でも、e 京都ラーニングに挙げた電子データ（レジュメ等）のダウンロードや課題の提出機能や小テスト機能等が活用できます。VOD コンテンツの視聴可能期間や、課題提出機能や小テスト機能を利用する場合は、その期間を踏まえて「開講期間」欄の開始年月日と終了年月日をそれぞれ入力してください。なお、e ラーニング科目は履修可否決定後（2016年度は4月22日〈金〉以降）に開始日を設定してください。

8. 開講しない科目について【共通】

2015年度開講のうち2016年度に開講されない科目は、e 京都ラーニングから必ず削除してください。

9. 文字化けする可能性のある文字について【共通】

英語以外のアルファベット（フランス語の ”è” など）や、中国語の漢字、外字などは、入力は可能ですが、e 京都ラーニング上では文字化けする可能性があります。代替の文字やカタカナで入力いただくなどのご対応をお願いします。

10. スペース、頭揃えの指定について 【共通】

シラバスの校正・修正の際に、段落の頭揃えやスペースの間隔の修正などのご要望をいただくことがあります。e 京都ラーニング上では、システムの仕様との関係で対応できない場合もございますので、ご了承ください。

京カレッジ募集ガイドではご要望通り対応いたします。

以上

2016 年度単位互換・京カレッジに関する確認事項

2016 年度単位互換・京カレッジ開講に伴う事前準備やリーフレット、募集ガイド作成等に関する確認事項を、本会議後にメールにてご連絡いたします。

つきましては、下記の内容をご確認いただき最新・正確な情報提供をお願いいたします。
特に、紙媒体に掲載する情報は、各大学の記載内容もご参考いただき、読みやすさに配慮した工夫をお願いいたします。

なお、各様式のご回答期日は、12月18日（金）までとさせていただきます。

	様式名	単位互換	京カレッジ
1	単位互換リーフレット（配布対象： <u>新入生、2年次生全員</u> ） 京カレッジ募集ガイド 送付部数調査表	*	*
2	各大学・短期大学 手続一覧（京カレッジ募集ガイド掲載用）		*
3	各大学・短期大学図書館利用一覧 変更連絡調査（京カレッジ募集ガイド掲載用）		*
4	各大学の独自の生涯学習講座 窓口部署調査（京カレッジ募集ガイド掲載用）		*
5	参加大学地図・連絡先一覧 変更有無調査		*

以 上

単位互換事業に関する事務連絡について

資料10

1. 2015 年度開講科目の科目開設補助金の支給基準について

科目開設補助金は、他大学の学生・京カレッジ生が授業定員の 50%以上を占め、かつ履修許可者数が 10 名以上いるプラザ科目を支給対象※とします。支給対象科目については 11 月中をめどに、各大学にご連絡いたします。※京都世界遺産 PBL 科目については、別途対応いたします。

また、単位互換制度のための持ち出し科目であるが、実習等施設の都合でオンキャンパス科目として開講している科目のうち、自大学生が受講しておらず、履修許可者数が 10 名以上の科目については、例外的にプラザ科目と同様に科目開設補助金を支給いたします。

なお、次年度より、補助金の支給条件や支給金額が変わります。詳細は本資料の 2 ページをご参照ください。

2. 単位互換パンフレットの配布依頼について

単位互換制度をより多くの学生に利用していただけるよう、単位互換制度の紹介パンフレットを新たに発行いたします。近年の年次別の出願者数を見ると、低年次生の出願率が低いため、新入生と 2 年次生には可能な範囲で全員に配布いただきたいと考えております。集約については先ほど議題でご依頼しました通りです。ご協力の程、宜しくお願い致します。

3. 2016 年度 e ラーニング科目のコンテンツの改修について

既存の e ラーニング科目で、2016 年に一部コンテンツの改修をお考え科目がございましたら、予算措置の都合上、12 月 16 日（水）までに、財団までご相談ください。

4. 2016 年度からの出願期間の財団 Web ページでの公開について

単位互換科目への出願期間は、財団が定める期間内で各大学にて個別設定いただいております。これまでは、財団 Web ページでは、財団の定める期間のみ掲示しておりましたが、学生から自身の所属大学の開講期間の問い合わせを多数受けていることから、次年度より集約した出願期間を財団 Web ページにて公開いたします。

5. オンキャンパス科目の教室について

例年、初回授業開始前に、単位互換科目の受講生から講義教室に関する質問が多く寄せられます。プラザ科目については、財団 Web ページ及び掲示板に掲載しておりますが、オンキャンパス科目の講義教室は、情報の掲出場所も分からない場合が多いので、各大学におかれましては、e 京都ラーニングのお知らせ機能等で、教室情報の掲出場所や教室の場所を学生にお知らせいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

6. 個人情報等の管理について

各大学におかれましては、e 京都ラーニングシステム以外でも、単位互換履修生証の発行や成績など、個人情報記載された書類や資料のやり取りをされる場面もあるかと思えます。財団も含め個人情報の取り扱いについては引き続き留意しますので、各大学におかれましてもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上

京カレッジ 大学リレー講座への講座の提供について（お願い）

京カレッジでは、加盟校から公開講座の提供を受けた「京カレッジ 大学リレー講座」を2016年度から開講します。

京カレッジの大学講義や複数回の公開講座など敷居が高いと感じておられる方でも、気軽に大学の公開講座に接する機会として、また、キャンパスプラザ京都という立地を活かし、大学の公開講座のPR機会として活用ご参加ください。

つきましては、下記のとおり参画大学を募ります。ご応募のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 応募方法・締め切り

別紙「参加票」をご提出ください。締め切りは【12月18日（金）】までとします。

2. 採用件数

10件（採用件数を超える場合は先着順で受け付けます）

3. 講座の内容

内容は問いません。各大学で特にPRしたい講座内容1講座をご提供ください。採用は1大学につき1講座とします。

4. 開講期間・時間帯

2016年4月から2月の間で月1回開講します。時間帯は第3土曜日の13:00から90分の講義とします。希望する開講月がある場合はその理由をご記入ください。

5. 会場

キャンパスプラザ京都での開講とします。

6. 講座の申込方法・受講料

申し込みは不要とします。また、受講料も無料とします。

7. 講座の運営

各大学で運営をお願いします。

8. 経費負担

講師料11,137円（税込）、講座運営費10,000円を足した21,137円を開講大学の銀行口座へ支給します。講師料は各大学の規定で講師に直接お支払いください。

なお、教室・設備の使用料負担はありません。

9. 広報

京都市広報誌「市民しんぶん」や京カレッジ生募集ガイドで紹介するほか、大学記者クラブへリリースを行います。

10. 備考

本取り組みは2016年度にパイロット事業として行い、それ以降の開講については参加状況や受講生へのアンケートから判断します。

以 上

応募： 年 月 日

京カレッジ 大学リレー講座参加票

【提出締切 12/18（金）】

大学名： _____

京カレッジ大学リレー講座に下記のとおり講座を提供します。

講座タイトル (※1)			
担当教員			
概要 (100 字程度) (※2)			
連絡先 (※3)	部署名		
	担当者氏名		
	電話番号		
	E メール		
備 考 (※4)			

※1 一般にわかりやすい講座タイトル（主題・副題）をつけてください。

※2 講座を計画する現在の内容をお書きください。案内誌等に掲載します。ガイドに掲載する文章の校正を来年 1 月にお願いします。

※3 今後の連絡先についてお書きください。

※4 財団への連絡事項があれば自由にお書きください。

＜申し込み先＞ FAX またはメールで応募してください。

大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 TEL075-353-9140

FAX の場合：075-353-9121 ／ Eメールの場合：tg@consortium.or.jp

受付印	受取印	備考
-----	-----	----